

第26回岩手県障がい者スポーツ大会ボッチャ競技 競技規則及び申合せ事項

1 原則

本大会では同年度の（一社）日本ボッチャ協会競技規則及び令和6年度全国障害者スポーツ大会競技規則を準用する。

2 競技場

- (1) 正規クラスは12.5m×6mとする。オープンクラスはミニコートを使用する。
- (2) 正規クラスのスローイングボックスは3番と4番とする。

3 用具

- (1) ボール
 - ①ボールは個人所有のボールを使用しても構わない。
 - ②規定サイズは、重量：275g±12g、周囲：270mm±8mmとする。
- (2) ランプ
 - ①ランプは選手が準備したものの使用を基本とするが、貸出用を2セット準備している。
 - ②大きさは附属品、延長部、基本部分を含めた最大最長の状態にして横に倒したときに、2.5m×1mのエリア内に収まるような寸法であることとする。
 - ③ボールを投球する際に、ランプの先は接地しているかに関わらず、スローイングラインより前には出てはいけない。
 - ④試合中いかなる局面においてもランプをスイングする必要はない。

4 競技方法

- (1) 立位クラス
 - ①全3組の予選リーグ戦を行い、各組1位が順位決定リーグに進出する。
 - ②予選リーグの2位、3位についても交流戦を行う。
- (2) 座位クラス
 - ①全2組の予選リーグ戦を行い、各組上位2名が決勝トーナメントに進出する。
 - ②予選リーグ敗退者についても交流戦を行う。
- (3) オープンクラス
出場者12名を3名×4組に分け、予選リーグを行う。予選成績により決勝トーナメントと交流トーナメントに分かれてそれぞれで順位を競う。
- (4) その他
 - ①試合は1対1の個人戦を2エンド行う。同点の場合は、タイブレイク（ファイナルショット制度）を行う。ただし、交流戦においては1エンドマッチとすることがある。
 - ②ジャックボールを含めた投球時間の合計は、1エンドあたり、それぞれ5分とする。
 - ③タイブレイク（ファイナルショット制度）では、投球時間は設定しない。

5 違反行為

以下の行為については、違反行為として罰則を受ける。

- (1) ラインを踏む、もしくはボックスの外に足や補装具が接地した状態で投球する。
→投球したボールは無効となり、リトラクション（ボール除去）となる。
- (2) 審判の指示がある前に投球する。または指示がない選手が投球する。
→投球したボールは無効となり、リトラクション（ボール除去）となる。
- (3) ランプを使用する選手のアシスタントが、試合中にコートを見たり、競技に介入したりする所作を審判が認めたとき。
→投球したボールは無効となり、リトラクション（ボール除去）となる。

6 その他

上記の他、大会を円滑に行うために競技規則などを緩和することがある。